

平成23年5月21日（土）男女参画センター「あざれあ」にて平成22年度決算総会が1089名（当日出席者143名 書面表決出席者946名）のもと開催された。

- 第1号議案 平成22年度 事業経過報告
- 第2号議案 平成22年度 決算報告
- 第3号議案 平成22年度 業務及び会計監査報告
- 第4号議案 一般社団法人への移行決議案
- 第5号議案 次回総会開催地について

すべての議案が賛成多数で可決された。

平成22年度決算総会 会場出席者、書面表決による反対、意見および回答

1. 第1号議案に対する意見

渡辺 高文技師 <NTT東日本伊豆病院>

本日の学会、大変良かったと思います。

ただ、時間的にももう少し長く開催することは出来ませんか。せっかく地元で開催しているのですから、できればもう少し長く半日ではなく1日開催できるよう今後は計画していただけるといいと思います。

【回答 横地会長】

有難うございます。開催時間については土曜日の開催のため、午前中はお仕事の方もいますので、午後半日の開催となっています。今年は昨年に比べて演題数も多くなっています。今後は出来れば1日開催が出来るよう来年に向けて計画していこうと思います。

2. 第4号議案に対する意見

渡辺 高文技師 <NTT東日本伊豆病院>

静臨技は社団法人を掲げておりますが、3月11日の東日本大震災に対して技師会執行部から震災支援についての意思表示がありません。日臨技のホームページを見ても具体的なものが出されていません。医師会、放射線技師会、薬剤師会、看護協会は支援活動に動いていますが、技師会執行部で提案されていることは義援金募集などです。当検査科でもインフルエンザのキットや義援金の対応をしましたが、長期にわたる事なのでぜひ技師会として音頭をとってほしいと思います。

【回答 横地会長】

静臨技として災害支援について表だっってはっきりとした意思表示はしていません。この件については問い合わせも来ております。看護協会は被災地へ支援の派遣を

行っていますが、日臨技ではまだ出してはいません。また薬剤師会でも派遣をしています。被災地で慢性疾患を抱える患者さんのお薬の処方をする必要があるということから医師会から薬剤師会に要請がありました。放射線技師会は、福島原発で放射能漏れがあったことから、放射線関係で依頼がありました。ただ、検査技師が職種を生かす事が出来る派遣はありません。施設によって被災地に赴いている方もいらっしゃいますが、現場でも検査技師の職種を生かした要請はありません。しかし、宮城県、福島県、岩手県の病院への人的以外の支援はしています。SMBGを出してみたりもしています。現在は検査技師が単独での支援は出来ませんので一部協力という形で行っていきます。日臨技としての活動方針は出されていませんが、今後を期待したいと思います。

3. その他の意見

①大芝 孝次技師 <富士市立中央病院>

東北地震が起きた次の日の3月12日(土)に一般検査の勉強会がありました。駿河湾は津波警報が出ておりJR東海道線、国道一号線、東名高速は止まっていました。唯一新幹線は動いていましたが、どうしてこんな事態の時に勉強会を強行したのかわかりません！学会員の安全を考えない無責任な学術部長にお尋ねします。学術部長はこの日の事態を把握されていたのか？ どうして強行実施したのか？今後も同様な事態が起きたとしても同じことを繰り返すのか？

【回答 上林学術会長】

研修会の開催および中止に関する貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。3月12日の一般検査研修会の開催および中止に関する状況について報告いたします。開催にあたりまして研究班班長と協議をおこないました。協議内容は、交通状況については、新幹線の運行が実施されていること、会場の「あざれあ」については、通常の業務を実施していること、研修会の講師の意向は、研修会の出席に前向きであること、以上の状況により、研修会の開催が可能であると判断を致しました。ただし、研修会の参加については強制力を伴わないこと、身体の安全を最優先し、研修会の参加・不参加については各自の判断に委ねることを確認いたしました。今回の事例は、危機管理の観点から多くの教訓を含んでおります。

また、静臨技の諸規定に研修会の中止要件は記載されておりません。静岡県は東海地震の震源域に想定されていることは、多くの人に認識されています。地震以外にも自然災害として台風の影響も想定しておく必要があります。理事会の協議において、研修会の中止要件を整備し、会員の皆様に広報できるように努力してまいりますので、宜しく申し上げます。

②村松 知枝技師 <特定医療法人社団松愛会 松田病院>

研修会によって、飲み物があったり無かったりで統一性がありません。
同じ会費を払って参加しているわけですから、出すのか出さないのか統一してもらいたいです。

【回答 上林学会会長】

研修会の飲料の提供に関する貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。
研修会の参加者の皆様より頂いている参加費は、研修会事業の運営費として
研究班役員一同、有効に利用させていただいております。

現在、定例研修会の参加費の多くが、1,000 円に設定されています。研修会事業
の収入額の多くは、参加費に依存しております。すなわち、研修会参加者の人数
により、研修会の収入額が変動いたします。なお、研修会の支出額は、参加人数
に左右されること無く、講師謝礼、交通費、会場借用費などを合わせて、毎回、
ほぼ同額の支出が発生いたします。このため、参加者が予定人数に到達しない研
修会の場合は、赤字収支になります。仮に、飲料を全ての研修会で提供するよう
に設定しますと、参加者が予定人数に到達しない研修会の場合は、飲料提供が、
赤字額に加算されます。なお、飲料提供が可能な黒字収支の研修会の場合は、参
加者に飲料を提供することは、社会良識の範囲内として差し支えないと考えます。
今後も研究班研修会事業を開催し、医学検査情報の伝達および臨床検査技術の習
得を通じて、会員皆様のスキルアップ向上に貢献させて頂きたいと考えておりま
すので、ご理解の程宜しく申し上げます。

③野沢 政史技師 <共立蒲原総合病院>

技師会誌は希望にしてもらいたい。(資源・e c oの事を考えて)

④内藤 純子技師 <聖隷健康診断センター>

会報誌を全員配布していますが、病院単位で希望分の配布など源らす方向を考えて
ほしいと思います。

⑤岡本 明子技師 <浜松医科大学附属病院 検査部>

雑誌不要会員をつくって欲しい→HPにてPDFで閲覧できるようにする。
会費を安くする。

【回答 伊藤事務局長】

技師会誌・会報誌とは多分、県の発行している会報ではなく日臨技が発行している
『臨床検査』の雑誌のことを言っていると思います。日臨技の会費 10,000 円の中
で作成していて、以前から「雑誌いらないから会費を下げろ！」という意見は多数

聞いていますが日臨技の変更はありませんでした、今年度からは保険等の絡みも出て予算上、発行が2ヶ月に一回になりますので様子を見て頂きたいと思います。
会費の変更PDF閲覧については日臨技に考えがあるのか聞いてみたいと思います

⑥武智 靖技師 <三島中央病院>

役員の皆様ご苦勞様です。

⑦石渡 真二技師 <エスアールエル静岡ラボラトリー>

詳細な報告、ありがとうございました。

【回答 伊藤事務局長】

励ましお言葉ありがとうございます。今後共理事一同力をあわせて情報の提供・伝達、意見の集約・報告など技師会業務にがんばっていきます。